



お宝No.10 伏見寒天プロジェクト
「寒天発祥の地の記念碑設置」

「お宝No.」とは？
「まちづくり・お宝バンク」に登録されている提案番号です

京都伏見が発祥！「寒天の発祥の日」（12月27日）が認定されました

江戸時代の寒い冬に偶然できたという寒天。伏見寒天プロジェクトの植野さんの調べでは、古文書に寒天ができるきっかけとなった場所が「伏見御駕籠町」と記されていたそうで、その場所に寒天発祥の地の記念碑を建立したいと、寒天を使った調理イベントや講演会・イベント出店など、これまで幅広く活動してきました。

そして昨年度は「寒天発祥の日」が日本記念日協会により認定されました。

4年前にお話しを伺った際に、「ただ単に記念碑を建てるのではなく、まずは寒天とその発祥の地であることをいろんな人に知ってもらい、仲間をつくってから記念碑を建たい」と仰っていたとおり、植野さんの積極的かつ地道な活動に仲間が集まり実を結んでいます。そして今年12月27日には記念碑の除幕式をすることを目標にされているそうです。

【なぜ12月27日？】寒天発祥の地・伏見、(伏・見＝24・3)から、 $24+3=27$ の語呂合わせで、12月27日を記念日としたそうです。

お宝No.172 NPO法人フラワー・サイコロジー協会

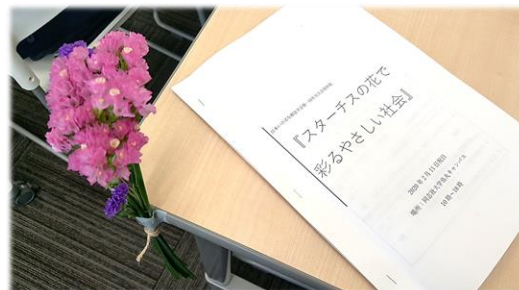
「フラワー・サイコロジスト認定事業（華道を用いたセラピーの実践ができる人を育てる）」

世界で唯一の療法「いけばな療法」で地域を豊かに

令和2年2月11日に日本いけばな療法学会第一回年次大会が行われ、NPO法人フラワー・サイコロジー協会理事長の浜崎さんが登壇されました。

シンポジウムでは、右京区の嵯峨鳥居本地域で開催した「いけばな街道」について「認知症の人の社会参加，スターチスを使用したいけばな街道の果たす役割」という題で話題提供をされました。シンポジウム見学レポートは[こちら](#)。

その他の登壇者には、和歌山県御坊市役所総務部企画課政策調整係、市民福祉部介護福祉課地域支援課、社会福祉法人博愛会日高博愛園の専門員、JA紀州の方々も登壇し、各組織が連携してすすめてきた和歌山の名産品スターチスの花をまちづくりに活かした活動を紹介されました。会場全体に飾られたスターチスの効果も相まって華やかで和やかな雰囲気になっていました。



お宝No.257 凸凹フューチャーセンター

「支援から共助へ！凸凹のある人が活躍できる住みよい街に」

「コクリエ・ラボ」がオープンしました

4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日から4月8日は「発達障害啓発週間」です。それに先立ち、凸凹フューチャーセンターの活動にも使用される拠点「コクリエ・ラボ」が3月14日伏見区桃山南にオープンしました。

開放的なホールや和室、コワーキングスペースなど、様々な活動の拠点として活用できそうな場です。

集合イベントが難しい昨今の状況に合わせて、オンラインイベントも予定されていますので、facebookで最新情報をチェックしてください。



お宝No.345 伊藤裕子

「京都やからできるねん！ 国境のない体験で子供らしい子供を育む」

クラウドファンディングに挑戦中です！

オンライン英語コーチ「やりなおし英語サロン」の伊藤さんが、子供たちが集う学童のようなイメージの国籍・年齢・性別関係なく集い、皆が笑って素のままの姿でいられる場所をつくりたいと、4月30日まで100万円の資金調達を目指してREADYFORにてクラウドファンディングに挑戦中です。

3月末現在、「国境のないお家」になる物件を探している最中とのことで、今年の夏オープンを目指されています。

3月～4月は、様々なイベントが終了または中止になっているため、なかなか直接告知をする機会がないとのことですので、興味を持たれた方はぜひREADYFORをチェックしてください。



これまでは、南区の「レンタルスペース九条湯」をお借りして国際交流の場をつくってきました。



「国境のないお家」完成イメージ画

京都やからできるねん！

国境のない体験で子供らしい子供を育む。

国境なんてない！子供も大人も日本人も海外の方も、みんなワクワク楽しむ「国境のないお家」を京都に作りたい！ゲーム三昧だった我が子がガラリと変わったように、子供も私もみんなハッピーに笑顔あふれる居心地のいい場所を目指します。

クラウドファンディングに挑戦します！

期間 2020年4月30日☺まで！

国境のないお家？

子供らしい子供って？

ゲーム体験って？

发起人 Yoko April Itoについて

Facebookページ

URL: <https://readyfor.jp/projects/33249>

お宝No.345 クラウドファンディングに参加します！

お宝No.268 セカンドハーベスト京都

「こども支援プロジェクト」

お宝No.283 NPO法人NCMジャパン京都事務所（花園ジョイフル子ども会）

「居場所づくりを通して地域社会のまちづくりを支えます」

京都はぐくみ憲章実践推進者表彰

京都市では、子どもたちの今と未来のため、大人としてどう行動すべきかを示した「京都はぐくみ憲章（子どもを共に育む京都市民憲章）」の理念のもと、子どもを笑顔で温かく見守り、地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」が息づくまちづくりを進めています。

令和元年度は、まちづくり・お宝バンク取組提案団体2団体が「京都はぐくみ憲章」実践推進者「はぐくみアクション賞」に選ばれました。

セカンドハーベスト京都さんの取組「こども支援プロジェクト」は、新型コロナウイルスの影響で学校が休校となった際に新聞やテレビで紹介されていたのでご存じの方もいらっしゃると思います。長期休校で給食が食べられなくなった子供たちが食の不安なく過ごせるための活動ですので、まずはこの活動について広く知っていただけたらと思います。食品寄贈についても団体までお寄せください。

[セカンドハーベスト京都ホームページ](#)



まちづくり活動に活かせるサイトのご紹介

まちづくり・お宝バンク取組提案者さんの活動支援について「〇〇について何か情報があったら教えてください」と尋ねられることがある場合には、個別にご紹介させていただくことがありますが、今回は京都でまちづくり活動をする方がよく活用しているポータルサイトをご紹介します。

京都市市民活動総合センターの「情報共有ポータルサイト」

イベント情報、ボランティア募集情報、助成金情報、講座情報、アワード情報など、みなさんの活動を応援する情報が網羅されていますので、ご自身の活動に活かせるものがあるのではないのでしょうか。ぜひ活用ください。

